
このたびの東北地方太平洋沖地震において被災された皆様に心より
お見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

L E C 東京リ・ガルマインド 大学事業課

特集) 2011 年 3 月卒業予定者の就職内定率が最低に
～学生の就職活動における変化とその対策について～

※今回は図表が多く含まれるため、この特集の PDF 版をご用意しました。
あわせてご利用いただければ幸いです。

http://r.advg.jp/adptg_count/r?adptg_aid=1369&adptg_mid=14586&adptg_lid=1

■2011 年 3 月卒業予定者の就職内定率が最低に

文部科学省・厚生労働省が 3 月 18 日に公表した資料によれば、2011 年 3 月
卒業予定の大学生の 2 月 1 日時点における就職内定率が 77.4% (前年同期比
で 2.6 ポイント低下) となり、比較可能な 1999 年度以降では最低の水準に
なりました。(同時点の短大生の就職内定率は 63.1%で、前年同期よりも
4.2 ポイント低下し、1999 年度の 60.8%に次ぐ低い数値となっています)

この調査結果では、内定を得ていない学生は、全国で 9 万人 (内定者 30.7
万人)、短大生は 1.9 万人 (内定者 3.4 万人) と推定されています。今年度
の大学生の就職内定率低下が目立つところは、設置者別では国公立大学が
84.0% (前年同期比で 2.9 ポイントの低下)、性別では女性が 75.7% (同
4.2 ポイントの低下)、文理別では理系が 80.3% (5.9 ポイントの低下)、
地域別では中部地区が 70.7% (同 6.6 ポイントの低下) などとなっています。
今回の調査は、3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の前に実施されて
いるため、今後は、地震の影響で企業が内定を取り消したり、採用を控える
動きに出るのではないかと懸念され、学生の就職活動は一段と厳しさを
増すことが予想されます。

■2010 年 3 月未就職卒業者の状況

独立行政法人労働政策研究・研修機構の「大学における未就職卒業生支援

に関する調査」(全国の4年制大学614校を対象とした調査の速報：2010年8月27日)によれば、卒業後に進学・就職・一時的な仕事もしていない卒業生(全体の15.8%)のうち、「現在も求職中である」者が約40%、「進路希望は未定、または不明である」者が約25%、「公務員や教員、資格試験受験の準備中である」者が約20%となっています。このデータからは、卒業生全体のうち、約10%が5月下旬から6月上旬時点でも就職活動中であることがわかります。また、同調査は、一時的な仕事に就いた卒業生(全体の3.4%)のうち、「正社員に登用される見込みのある一時的な仕事」に就いた者は約20%に過ぎず、約70%は「正社員に登用される見込みは特にない一時的な仕事」に就いているとしています。

この数値を、文部科学省の「学校基本調査」2010(平成22)年確定値に当てはめると、2010年3月に4年制の大学を卒業した54.1万人の学生のうち、学卒無業者となった者87,174人中55,705人が求職中であり、一時的な仕事に就いた者19,332人中13,513人が正社員になる見込みのない一時的な仕事に就いていることがわかります。政府の政策方針によれば、大学のキャリアセンターには、こうした卒業生に対する支援も求められてくることになります。

■未就職内定者の特徴

同調査は、「大学キャリアセンター(就職部)担当者の感じる未就職卒業生の特徴」を、次のように示しています。

※表1は下記URLでご覧頂けます

http://r.advg.jp/adptg_count/r?adptg_aid=1369&adptg_mid=14586&adptg_lid=2

(資料出所：労働政策研究・研修機構

「大学における未就職卒業生支援に関する調査」(速報)2010年)

このように、未就職卒業生の特徴は、「就職活動をスタートするのが遅い」「自分の意見や考えを上手く表現できない」「教員や職員にほとんど相談しない」「何をしたらいいかわからない」「自信がない」「エントリーシートが書けない」などとなっています。また、全般に未就職卒業生が多い大学では、特に「就職活動をスタートするのが遅い」(41.9%)、「エントリーシートが書けない」(36.0%)、「何をしたらいいかわからない」(32.4%)、「こだわりが強い」(25.0%)などについて、未就職卒業生が少ない大学との差が大きくなっています。このことから、未就職卒業生

が多い大学では、就職活動を始める段階からつまづいてしまっている学生が多いのではないかと推測されます。

■会社・仕事を選択する際に重視する基準

同調査は、会社・仕事を選択するに当たって重視する基準として、キャリアセンタースタッフ（大学側）が学生の相談を受ける際に重視する基準、学生が一般的に重視することが多い（と思われる）基準、未内定の学生に特徴的である（と思われる）基準について、次のように示しています。

※表 2 は下記 URL でご覧頂けます

http://r.advg.jp/adptg_count/r?adptg_aid=1369&adptg_mid=14586&adptg_lid=3

（資料出所：労働政策研究・研修機構

「大学における未就職卒業者支援に関する調査」（速報）2010 年）

このように、未内定学生に特徴的な基準として、地域条件（勤務地・転勤の有無など 62.5%）、企業の知名度（53.2%）、企業の業種・仕事内容（47.0%）などが挙げられます。さらに、勤務時間・休暇・福利厚生（39.3%）と賃金（38.1%）についても、指導で重視する基準を 10 ポイント以上上回っています。未内定になってしまう学生は、これらの項目が「こだわり」となっていることを示唆しています。

■2～3 年前との学生の就職活動の変化と求められる支援策

同調査は、就職活動における学生の行動変化についても、次のようにデータを示しています。

※表 3 は下記 URL でご覧頂けます

http://r.advg.jp/adptg_count/r?adptg_aid=1369&adptg_mid=14586&adptg_lid=4

（資料出所：労働政策研究・研修機構

「大学における未就職卒業者支援に関する調査」（速報）2010 年）

このように、学生の就職活動における変化としては、「就職活動の取り組み状況の個人差が大きくなり」、「学生の就職活動への取り組みが早くなった」り、「キャリアセンター（就職部）で斡旋できる求人が少なくなった」り、「学生がインターネットの情報に頼りすぎるようになった」ために、

「心理的負担を強く感じる学生が増えた」ことが挙げられます。特に、未内定者の多い大学では、学生がインターネットに頼り過ぎる傾向が強まっており、そのことは、学生がキャリアセンターの支援を活用しないことにつながるため、就職活動が孤立化してしまう結果をもたらし、心理的負担を強く感じる学生が増え、就職活動を途中でやめてしまうことにつながっていると考えられます。

これに対して、未就職卒業者が比較的少ない大学では、学生の相談が増えた（25.0%）、大学主催の就職支援行事への出席率が高くなった（22.7%）など、キャリアセンターの支援が学生に届いている状況をうかがうことができます。

■大学外の機関からの支援の活用

同調査は、学生の就職支援やキャリア形成支援のために、大学外の機関からの援助をどの程度活用しているかについても調査をしています。大学の約60%が学外の機関を活用したと答えていますが、活用状況には差異があります。私立大学の創立年度の比較的新しい大学、地域別では九州・沖縄、北関東、北海道・東北地区など、比較的求人の少ない地域の大学で学外機関を活用している大学が多くみられます。

また、未就職卒業者の割合との関係では、次のデータのようになっています。

※表4は下記 URL でご覧頂けます

http://r.advg.jp/adptg_count/r?adptg_aid=1369&adptg_mid=14586&adptg_lid=5

（資料出所：労働政策研究・研修機構

「大学における未就職卒業者支援に関する調査」（速報）2010年）

このように、未就職卒業者の割合との関係も明らかで、未就職卒業者の割合が高い大学ほど学外機関の活用が進んでいることがわかります。

活用の内容としては、ジョブサポーターや学生職業センター、ハローワークなどの公共機関が約50%、ジョブカフェやヤングジョブスポット(ヤングジョブセンター)などの就職支援機関が約40%、民間企業が約25%となっています。活用した支援の内容については、次のデータが示しています。

※表5は下記 URL でご覧頂けます

http://r.advg.jp/adptg_count/r?adptg_aid=1369&adptg_mid=14586&adptg_lid=6

(資料出所：労働政策研究・研修機構

「大学における未就職卒業生支援に関する調査」(速報) 2010年)

このように、外部機関を活用した大学の活用事例では、講座・セミナー・ガイダンス・マナー研修などが多くなっています。講師派遣やキャリアコンサルタントの派遣など、民間就職支援機関の専門的なノウハウを活用していることが多いことがわかります。

当大学事業課でも昨夏あたりから、教職員研修、キャリア講座の依頼が急増しております。教職員研修では、ゆとり世代の就職相談に当たってのコミュニケーション術など、キャリア講座では経済産業省が提唱している社会人基礎力を身につけるようなワーク型講座など知識ではなく、すぐに実践できるものを求められています。貴学でも何かお困りな点などございましたら、下記までお気軽にお問い合わせくださいませ。

東京リーガルマインド 大学営業課 キャリア開発担当

TEL:03-5913-6331 E-mail:mi-sano@lec-jp.com

【お知らせ】 大学・短大職員様向けセミナーのご案内

3/26(土)開催を予定していました

「学生に対するキャリア・コンサルティング・スキル向上セミナー」

ですが、今回の東北地方太平洋沖地震の各種状況を踏まえ、

延期させていただくこととなりました。

新たな開催日に関しましては、このメールマガジンで

今後お伝えする予定です。何卒、ご容赦の程、宜しくお願いいたします。

【プレゼント】 大学職員様向けミニ冊子 (PDF版) プレゼントのご案内

今回のメルマガでご提供方法をご案内させていただく予定でしたが、

諸事情により、ご提供ができない状態となっております。

次号以降に、プレゼント内容やご提供時期も含め、再度ご案内させて

頂きます。誠に申し訳ございませんが、何卒宜しくお願いいたします。

【お知らせ】22年度実施の市役所試験情報を集約！

学生様への情報提供にご利用下さい「市役所試験情報室」開設

今オススメは市役所！

若年失業率が上がり厳しい就職状況だからこそ、
努力次第で内定が取れる市役所就職がお勧めです。

お勧めの理由① 現在、多くの市で大量採用を行っている

現在、多くの市役所では、かなりの採用を行っています。

市役所職員になるなら、今がチャンスです！

団塊世代の退職に伴い、補充のために、多くの市役所で
積極的に採用を行っています。

お勧めの理由② やりがいのある仕事

地方の時代、地元の学生の能力は地方の活性化に活かすべきです。

例えば、第三セクターという事業です。上水道・バス・電車等の
公共交通の運営事業、図書館・公民館などの文化業団体、農業・漁業を
支える農業・漁業組合、生活を支える生活協同組合（生協）、販売の
組合であるコープ、また、小中学校の教師・補助教員・パート職員など
もあります。また、保育園・幼稚園などもあります。さらには、市営の
病院、警察官、消防官など、さまざまな活躍の場があります。

お勧めの理由③ 市役所試験対策をしておけば、就職先の幅が広がる

市役所試験の勉強は、市役所試験受験以外に、

地域の第三セクターや公的企業の就職にも役立ちます。

「市役所試験情報室」開設！

平成 22 年度実施の市役所試験の情報をまとめています。

(政令指定都市を除く)

詳細はこちら

http://r.advg.jp/adptg_count/r?adptg_aid=1369&adptg_mid=14586&adptg_lid=7

~~~~~  
★ L E C の最新情報はこちら

[http://r.advg.jp/adptg\\_count/r?adptg\\_aid=1369&adptg\\_mid=14586&adptg\\_lid=8](http://r.advg.jp/adptg_count/r?adptg_aid=1369&adptg_mid=14586&adptg_lid=8)

L E C の職業訓練

[http://r.advg.jp/adptg\\_count/r?adptg\\_aid=1369&adptg\\_mid=14586&adptg\\_lid=9](http://r.advg.jp/adptg_count/r?adptg_aid=1369&adptg_mid=14586&adptg_lid=9)

L E C の企業研修・法人事業部

[http://r.advg.jp/adptg\\_count/r?adptg\\_aid=1369&adptg\\_mid=14586&adptg\\_lid=10](http://r.advg.jp/adptg_count/r?adptg_aid=1369&adptg_mid=14586&adptg_lid=10)

L E C の人材サービス部門・プロキャリア事業部

[http://r.advg.jp/adptg\\_count/r?adptg\\_aid=1369&adptg\\_mid=14586&adptg\\_lid=11](http://r.advg.jp/adptg_count/r?adptg_aid=1369&adptg_mid=14586&adptg_lid=11)

=====  
■本メールの配信停止・メールアドレス変更をご希望の方は、  
下記 URL で手続きをお願い致します。

[https://regist.lec-jp.com/partner/univ/form\\_del.html](https://regist.lec-jp.com/partner/univ/form_del.html)

-----  
■発行:L E C 東京リ・ガルマインド 大学事業課

■Copyright (C) 2011 TOKYO LEGAL MIND K.K., All Rights Reserved. !